

資産構成と資本構成

HCアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者
加入協会

関東財務局長（金商）第430号
一般社団法人資産運用業協会

<https://www.fromhc.com>

2026.4.7

人+産業金融=成長
成長を支える投資の原点へ



概要

資金運用は資金調達の反対勘定

投資とは資金を運用することで、反対側には資金調達する主体がある。資産運用と資金調達は対する当事者から見た、一つの資金交換取引を指す。

事業資産と資金調達

事業が現金を創造するためには事業資産の保有が必要。事業資産を保有するためには、資金を調達する必要がある。貸借対照表とは、左に事業資産の目録を並べ、右に、調達資金の明細を並べて、均衡させたもの。

事業価値は資産構成で規定される

事業価値の改善は資産構成を変化させ、結果的に資本構成を変化させる。資産構成価値(事業価値)の総計は資本構成価値の総計に等しくなる。事業価値を高めない限り、投資価値は高まらない。事業価値を高めるためには、各事業価値を高め、かつ、事業結合の付加価値を高めなくてはならない。投資価値(=事業価値)が同じでも、資本構成を操作することで、株式等の各構成要素の表面的な価値は変動し得る。

資本構成の総体の価値が変動しなくても、構成の変動は、各要素の価値を変動させる

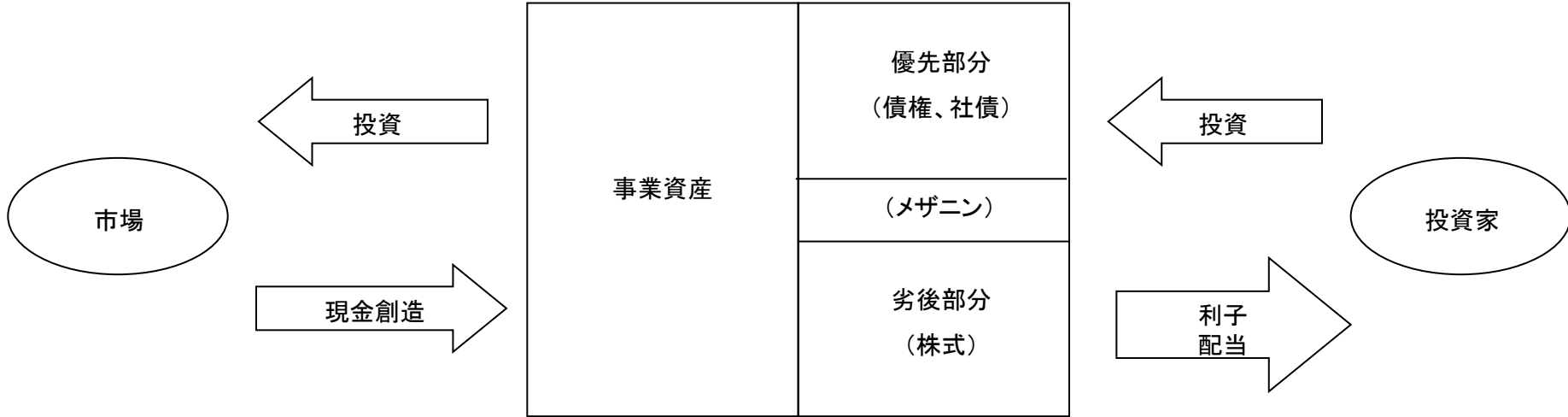
債務を増やせば、資本効率は上昇するものの、財務不安定性は増す(債務の効果と弊害)。債務を減らせば、資本効率は低下するものの、財務安定性は増す。理論的には、財務安定性を調整した後の株式収益率は、同じになるとも言える。事業の性格に応じて最適な資本構成が決まる。

用語集もご参照ください <https://www.fromhc.com/glossary/>

現金創造を規定する資産構成と分配の仕組みを規定する資本構成

企業(事業)の貸借対照表

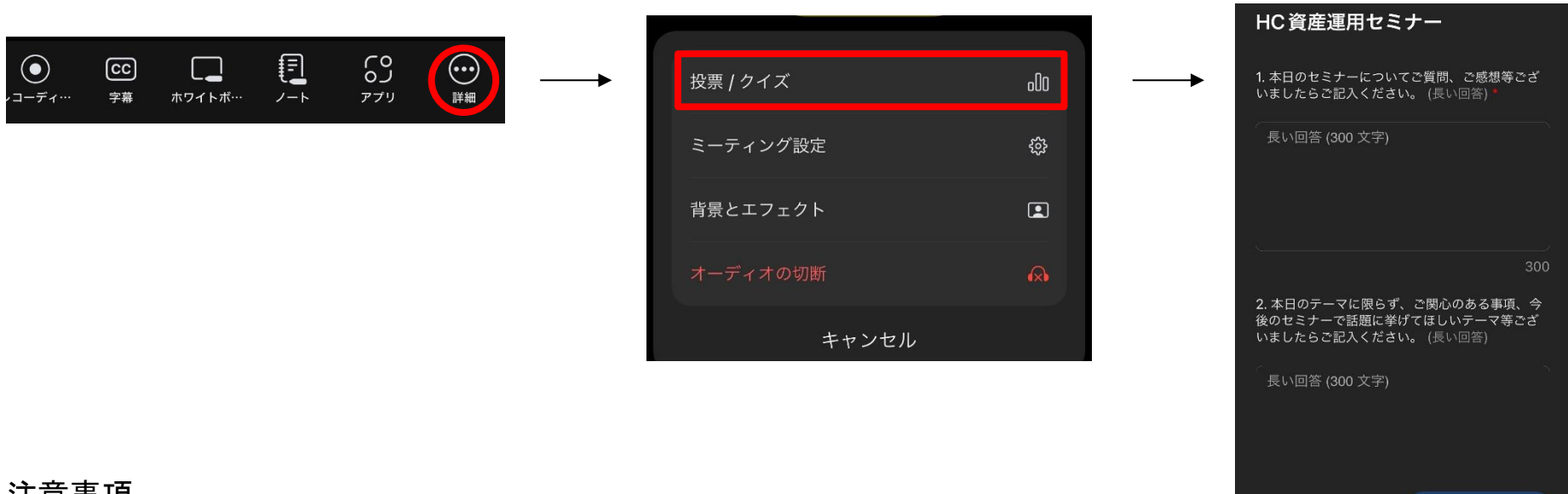
事業資産を稼働させて現金を創造する仕組み
資本構成を通じて現金を分配する仕組み



$$\text{事業価値} = \text{現金創造の現在価値} = \text{投資価値} = \text{分配額の現在価値}$$

講演後アンケート/注意事項

今後の運営に活かしたく、ご質問やご意見、ご感想、ご興味あるテーマなどを承っておりますので、ご自由にご意見をお寄せください。
回答方法:各セミナー講演途上でZoom上で配信します。配信後は一度閉じた場合でも、以下の通り詳細から再表示できます。



注意事項

- 本セミナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討を行うものであり、当社が行う金融商品取引業の内容に関する情報提供及び関連する特定の金融商品等の勧誘を行うものではありません。
- 本資料中のいかなる内容も将来の投資成果及び将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 本資料の著作権その他知的財産権は当社に帰属し、当社の事前の許可なく、本資料を第三者に交付することや記載された内容を転用することは固く禁じます。